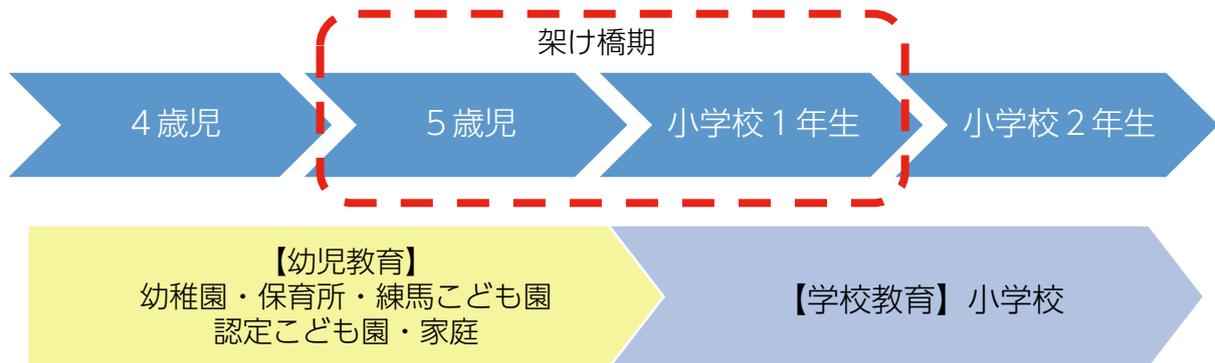


第 1 章

子どもたちの育ちと学びをつなぐために

架け橋期とは？

生涯にわたる学びや生活の基盤をつくる重要な時期である、義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間で「架け橋期」と称します。



資質・能力を育む

円滑な接続を
目指して

平成29年に改訂・改定された、幼稚園教育要領、保育所保育指針および小学校学習指導要領では、育成を目指す（育みたい）資質・能力が、「知識および技能（の基礎）」、「思考力、判断力、表現力等（の基礎）」、「学びに向かう力、人間性等」と示されました。幼稚園・保育所では、5領域におけるねらいおよび内容に基づいた遊びや生活を通して、資質・能力の基礎が育まれます。これは、生涯にわたる学びや生活の基盤となるもので、特に基盤をつくるために重要な5歳児から小学校1年生の架け橋期は、連携・協働を意識し、子どもの理解・関わり方について幼稚園・保育所・小学校の教員・保育士が学び合い、共有することが大切です。

※（育みたい）、（の基礎）は幼稚園教育要領、保育所保育指針より

遊びを中心として主体的に
様々な対象と直接関わりながら
総合的に学ぶ支援を
しているんだね。



幼児期 学びの芽生え

5領域におけるねらいおよび内容に基づく遊びや生活によって総合的に育まれます。
健康 人間関係 環境 言葉 表現



幼児期の終わり までに育って ほしい姿

児童期

自覚的な学び

各教科等の学習内容を系統的に配列した教育課程に基づいて学びます。小学校入学当初は、幼児期の遊びや生活を通じた学びから各教科等における学習に円滑に移行し、主体的に自己を発揮しながら意欲的に学びます。

育成を目指す資質・能力

生きて働く知識および技能*の習得

未知の状況にも対応できる
思考力、判断力、表現力等*の育成

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力、人間性等の涵養

*幼児教育では基礎を育成

乳児期

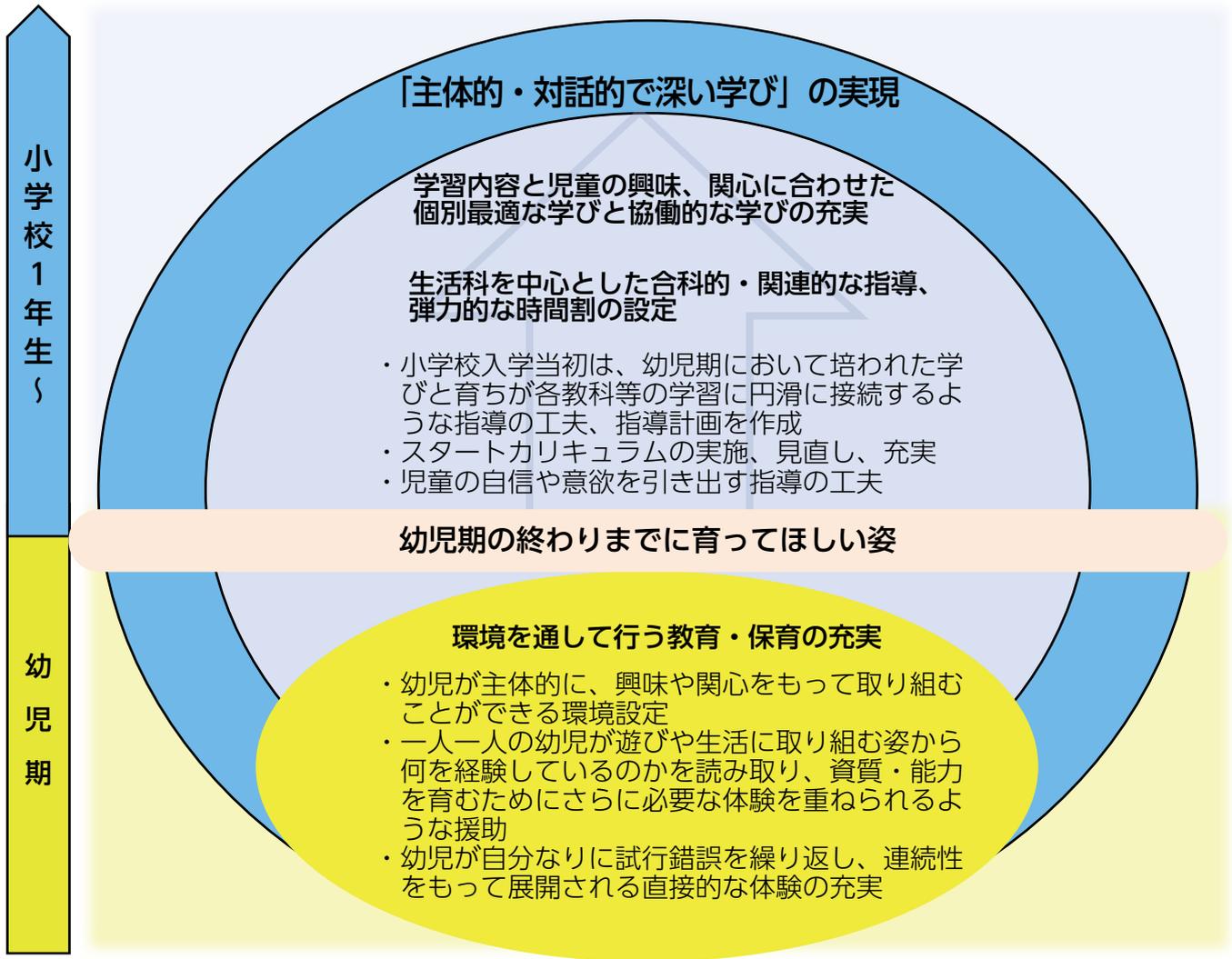
遊びや生活を通して育まれた力を
教科等の学習につなげるように授業や
環境の工夫をしているんだね。



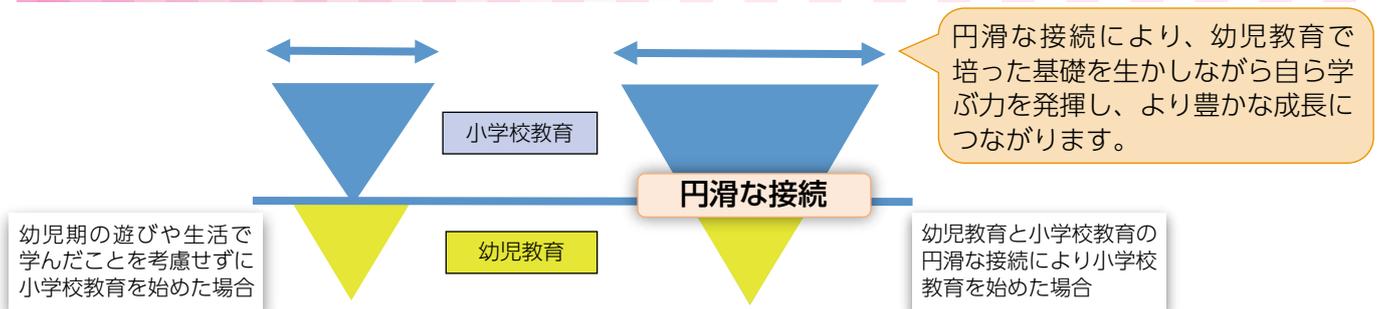
幼児期に育まれた資質・能力を小学校教育に生かす

自信や
意欲をもって
学ぶために

幼稚園・保育所における「遊びや生活の中の学び」と小学校における「各教科等から構成される時間割に基づく学習活動」には、方法や進め方に違いがあります。小学校では、入学当初の子どもが戸惑いや不安を感じ、学習や成長に支障をきたすことのないよう、幼児期の遊びや生活を通じた総合的な指導により育まれてきた資質・能力を基として、教育活動や環境を設定することで、子どもが自信や意欲をもって、主体的に自己を発揮しながら学びに向かえるように取組を進めていくことが重要です。



1年生はゼロからのスタートではありません



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は円滑な接続のきっかけ

子どもたちの姿から捉えよう！

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、子どもに資質・能力が育まれていく過程で見られる具体的な姿を示したものです。教員・保育士が、一人一人の子どもの姿から学びや生活の質を捉え、資質・能力がどのように育ってきているかを見出し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて援助する際のきっかけになります。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

- これらの姿は、到達目標ではなく、向かっていく方向性を示しています。
- ひとつの項目を取り出して指導、評価するものではありません。
- 全ての子どもに同じように見られるものではありません。
- それぞれの時期の遊びや育ちにより見られる姿です。



幼稚園・保育所では、教員や保育者が指導を行う際に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮し、小学校では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫をすることが円滑な接続に大切です。

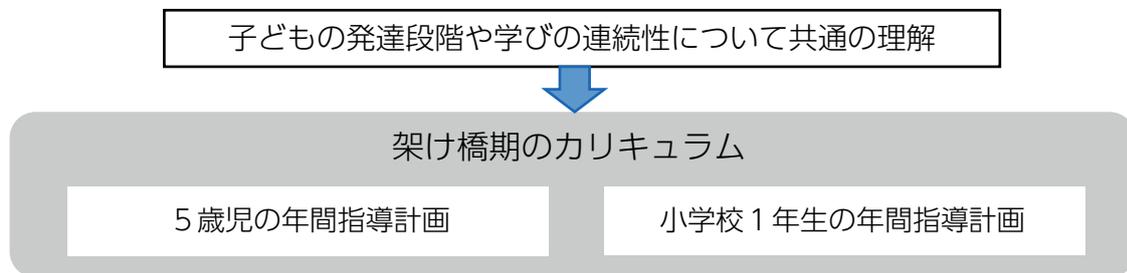
架け橋期の教育の充実に向けて

区の架け橋期の
カリキュラムの
取組

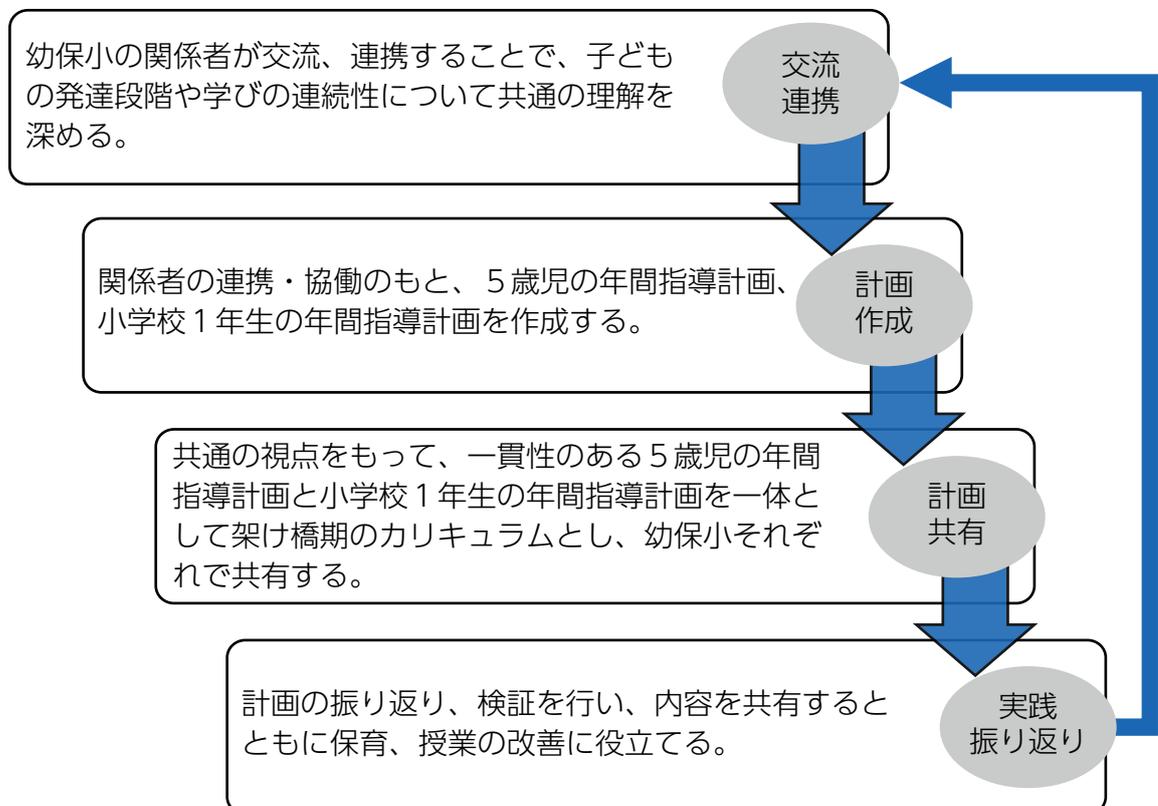
「架け橋期のカリキュラム」は幼児教育と小学校教育の連続性の理解から始め、それぞれの教育内容の充実、発展に向けて、毎年、振り返り、検証を行うことが大切です。

【区の架け橋期のカリキュラムの考え方】

関係者の連携・協働のもと、共通の視点（「育成を目指す（育みたい）資質・能力」、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」）をもって作成している、5歳児の年間指導計画と小学校1年生の年間指導計画を一体として、一貫性のある「架け橋期のカリキュラム」とするものです。



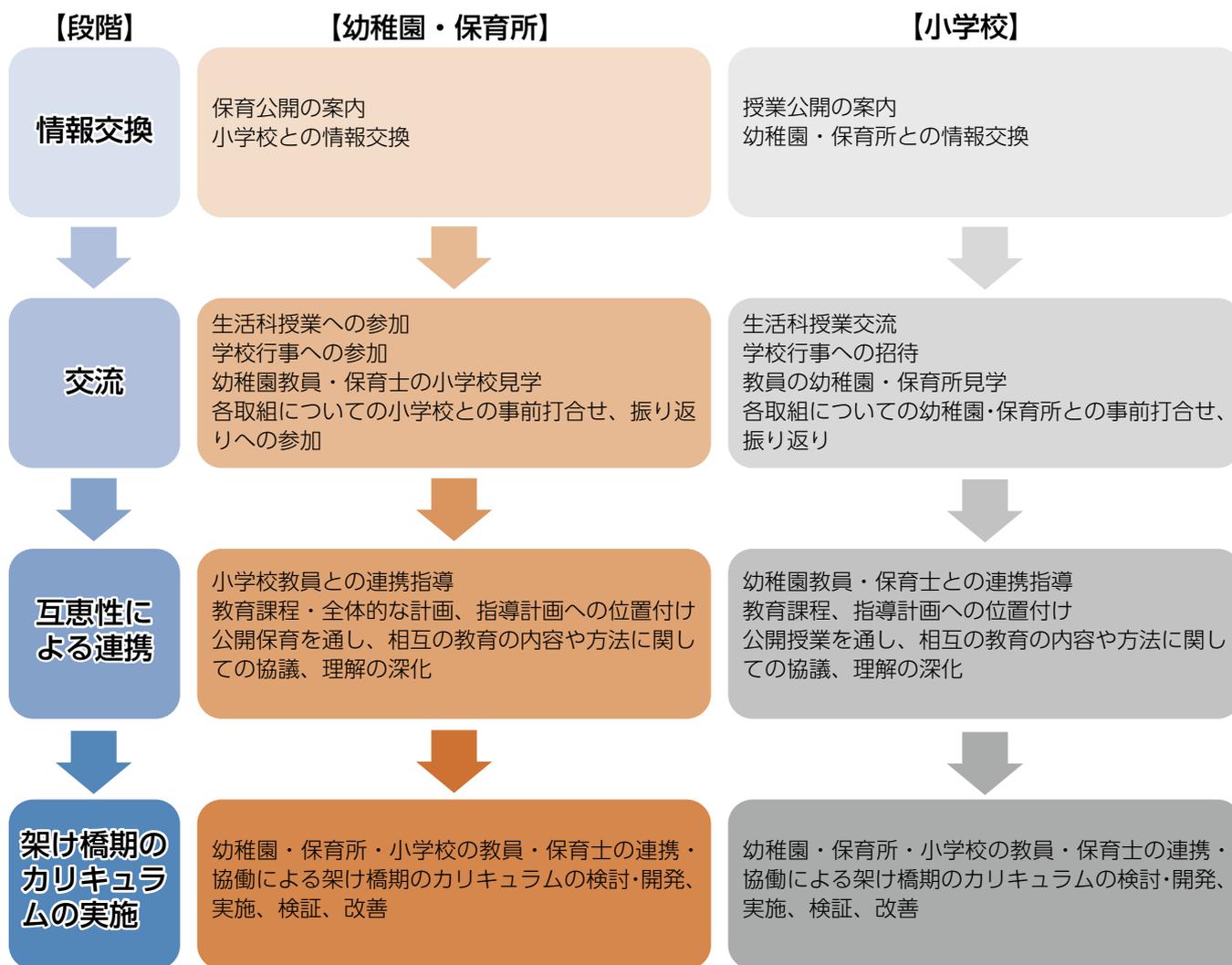
【架け橋期のカリキュラム作成・活用のステップ】



幼保小連携・接続の取組を進めるために

段階表で確認して
みましょう！

現在の幼保小連携・接続の取組はどこまで進んでいますか。
次の段階表を確認して、連携・協働を進めましょう。



※ 「練馬区幼保小連携推進方針」 P9 参照

※ 「幼稚園」の表記は、区立私立幼稚園、練馬こども園、認定こども園（幼稚園型）が含まれます。